

MGU Chapel Letter

—第 37 号 2024 年 4 月 27 日— 発行：大学宗教センター

* 2024 年度 年間聖句 *

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、
あなたがたも人にしなさい。」

マタイによる福音書 第 7 章 12 節



❖ 5 月の大学礼拝のスケジュール

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

5 月の礼拝日程（説教者の氏名 ※敬称略）

- ・ 5 月 1 日（水） 荒井偉作 （名取教会牧師）
- ・ 5 月 8 日（水） 近藤誠 （仙台北教会牧師）
- ・ 5 月 10 日（金） 清水禎文 （教育学部教授）
- ・ 5 月 13 日（月） 瀬谷寛 （仙台東一番丁教会牧師）
- ・ 5 月 15 日（水） 平賀真理子 （学院宗教主事）
- ・ 5 月 17 日（金） 栗原健 （大学宗教センター長）
* 聖歌隊が礼拝で歌います
- ・ 5 月 20 日（月） 銭谷幸器 （仙台南吉成キリスト教会牧師）
- ・ 5 月 22 日（水） 中本純 （仙台東六番丁教会牧師）
- ・ 5 月 24 日（金） 松本周 （一般教育部准教授）
- ・ 5 月 27 日（月） 金丸真 （仙台長命ヶ丘キリスト教会牧師）
- ・ 5 月 29 日（水） 風間義信 （日本キリスト改革派仙台教会牧師）
- ・ 5 月 31 日（金） 佐々木哲夫 （理事長・学院長・宗教総主事）

* 聖書・讃美歌をお持ちください。

✦ スクールモットー、ここに注目 ✦

これを読んでいる方には、新入生も多いと思います。大学に入ると、聞き慣れないことが多くて戸惑いやすいですが、その1つが「スクールモットー」ですね。宮学のモットーは、「神を畏れ、隣人を愛する」です。



「隣人を愛する」については、「隣人愛」という言葉もあるので何となくイメージできそうです。難しいのは、「神を畏れる」の方でしょう。「おそれる」と聞くと、通常私たちは「こわがる」ことをイメージします。そのため、「神というのはおっかない存在で、ああしろこうしろと決まりを押しつけて来る。従わないとバチが当たる」と受け取った人も、多いのではないのでしょうか。

ところが。これはそういう話ではないのです。ここで使われている漢字は、「恐」ではなく「畏」ですね。「畏敬」のように、「相手を大切な存在として、きちんと向き合う」という意味の字。「神を畏れる」も、そのような意味で理解すべきなのです。

「え〜と、私はクリスチャンじゃないんだけど、『神と向き合う』って、私にも関係あることなの？」と思ったかも知れません。それがちゃんと関係あるのです。

聖書は、「全ての人は、大切に価値がある存在として神に造られており、1人ひとりの人生には意味がある」と教えます。意味が無いものなら、始めから存在しません。そうである以上、「神と向き合う」ことは、「自分が生きていることには意味があり、この社会で出来ることがある。自分は、『ぜひ生きてほしい』と望まれて生まれた存在なのだ」と知って、人生をしっかりと生きて行くことも含むのです。

それは同時に、「他の人も1人ひとり、大切な、意味ある存在なのだ」と知って行くことでもあります。「隣人を愛する」につながりますね。このように、「神と向き合う」ことは、「自分自身と向き合う」「他者と向き合う」ことに直結して行くのです。

自分はどのように生きて行くべきなのか。他者とどのように支え合えるのか。深く考えながら人生を歩んで行くと、聖書の言葉と響き合うような体験をすることが起きて来ます。そういう面白い書物だからこそ、聖書は2000年間読まれているのですね。キリスト教学の授業や大学礼拝を通じて、この面白さを味わって行きましょう。(栗原)



5月17日(金):礼拝で聖歌隊が歌います!!

5月17日(金)の礼拝では、大学聖歌隊のメンバーたちが歌唱して下さいます。この日に歌われる讃美歌は、讃美歌21の471番「勝利をのぞみ We Shall Overcome」。この曲は、マーティン・ルーサー・キング牧師が率いたアメリカの公民権運動(黒人に対する差別撤廃運動)の中で愛唱された歌で、「神が望まれることは必ず実現する。不当な差別がいつまでも続くはずがない。そのことを信じて、勇気をもって歩き続けよう」という信念がこめられています。どのような困難があっても希望をもって進む決意を示したこの歌は、素朴なメロディーながら人の心を揺さぶる力があります。ぜひこの日の礼拝に参加して、聖歌隊の美しい歌声と共に賛美しましょう。

第1回キリスト教講座の案内

5月14日(火) 15時~16時 礼拝堂2階ヴェリタス
「キリスト教と福祉:ド・レペ神父と手話の普及」(栗原 健)

耳が不自由な人の言語である手話。この手話が広がった背景に、1人のキリスト教聖職者の尽力があったことをご存知でしょうか。世界初の聴覚支援学校を創設し、革命前夜のパリで手話教育を発展させたミシェル・ド・レペ神父(1712年~1789年)のユニークな生涯について、一般教育部の栗原先生が話して下さる予定です。予約は不要ですので、どなたでもいらして下さい。

ヴェリタスは、礼拝堂ロビーに入って左側の階段を上った2階にある部屋です。



【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL: 022-279-9558

Email: christ-c@mgu.ac.jp